

みぢかな季節かんじ隊

調査結果報告書（セミ）



残念ながらセミの写真は一枚もありませんでしたが現物を頂きましたので撮影しました

目次

- | | |
|---------|---------|
| 1 調査の目的 | 5 調査地点 |
| 2 調査の内容 | 6 隊員の声 |
| 3 調査の結果 | 7 参考資料 |
| 4 調査データ | 8 事務局より |

平成29年9月
前橋市環境部環境政策課

1 調査の目的

環境基本計画が位置づける5つの環境像の一つ「市民・事業者が主体的に環境保全活動に参加するまち」を実現するために市民自然環境調査を実施しています。次世代を担う子ども達をはじめ広く市民に対して自然環境調査を呼びかけ、身近な生物を通じて自然に触れ、親しみ、季節を感じ、前橋市域の自然環境を知ることによって環境保全に対する意識啓発を図ることを目的にセミの調査を実施しました。

2 調査の内容

調査の対象は、対象地域が市内各所にあること、私たちが身近な自然（季節）として感じられることを考慮し、「セミ（アブラゼミ・ミンミンゼミなど）」としました。

(1) 調査の概要

- ①調査テーマ セミの鳴き声・抜け殻などの調査
- ②調査期間 平成29年7月10日（月）～8月31日（木）

(2) 調査員の活動

- ①調査に参加する方を募集しました。（調査に参加した方を「隊員」といいます。）
- ②隊員は身近な場所で聞いたセミの鳴き声やセミの抜け殻を見つけていただき、「セミの種類」や「周りの様子」などを記録しました。
- ③調査の結果は調査票にまとめ、事務局に提出いただきました。

3 調査の結果

○調査隊員数：13名

○調査地点数：45地点

(※同一地点であっても、セミの種類、初確認日が異なる場合は別地点として集計しました。)

○確認種類（延地点数）

アブラゼミ	ミンミンゼミ	ヒグラシ	ツクツクボウシ	その他
13地点	13地点	5地点	10地点	4地点

〈参考〉前橋地方気象台の観測データ（セミ）

観測	アブラゼミ	ミンミンゼミ	ツクツクボウシ
初鳴日	7/20	7/28	7/28
平年差	-12	-10	-13
昨年差	-5	+1	-4


平年差（昨年差）が、正の数の場合「平年（昨年）より遅い日数」、負の数の場合は、「平年（昨年）より早い日数」を示しています。


4 調査データ


調査地点番号	初確認日	天気	調査した場所		確認できたセミの種類						どのようにセミの名前を調べたか	セミがいた場所は	セミがいた木の種類	調査した時間帯	以前と比べてセミの数はどうですか
			住所	地点名	アブラゼミ数	ミンゼミ数	ヒグラシ数	ツクツクホウシ数	その他数						
1	7月5日	晴	荒口町	前橋総合運動公園						ニイニイゼミ 2~5	鳴き声 掛け殻	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
2	7月6日	晴	荒口町	前橋総合運動公園						ニイニイゼミ 2~5	鳴き声 穴	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
3	7月7日	晴	柏川町女洲	女洲城跡						ニイニイゼミ 1	鳴き声	林・森	サクラなどの広葉樹	14~16時	分らない
4	7月10日	晴	上大島町	上大島町農村公園	1						成虫	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
5	7月10日	—	上大島町	上大島町農村公園						分らない 1	鳴き声	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	—	分らない
6	7月11日	曇	東善町	自宅	2~5						鳴き声	住宅街	分らない	その他	変わらない
7	7月11日	晴	青柳町	自宅	6~10						鳴き声	住宅街	サクラなどの広葉樹	6~11時	減った
8	7月12日	晴	青柳町	自宅			1				鳴き声	住宅街	サクラなどの広葉樹	11~14時	減った
9	7月13日	曇	勝沢町	自宅	1						鳴き声	その他	サクラなどの広葉樹	16~19時	変わらない
10	7月18日	晴	上細井町	赤城県道上細井町信号		1					鳴き声	その他	サクラなどの広葉樹	11~14時	分らない
11	7月19日	晴	亀泉町	寺沢川付近					分らない		鳴き声	林・森	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
12	7月19日	晴	総社町榎野	自宅		1					鳴き声	住宅街	その他	6~11時	減った
13	7月20日	晴	勝沢町	自宅		1					鳴き声	その他	果実	14~16時	変わらない
14	7月22日	晴	下新田町	備前橋林施設		2~5					鳴き声	その他	サクラなどの広葉樹	6~11時	分らない
15	7月23日	曇	荒口町	前橋総合運動公園	6~10						鳴き声 掛け殻	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
16	7月24日	晴	河原浜町	旧大胡町						2~5	鳴き声	林・森	サクラなどの広葉樹	14~16時	減った
17	7月24日	曇	総社町榎野	自宅	1						鳴き声	住宅街	その他	11~14時	減った
18	7月25日	晴	小相木町	—							鳴き声	住宅街	分らない	6~11時	減った
19	7月25日	曇	亀泉町	寺沢川付近							鳴き声	林・森	サクラなどの広葉樹	16~19時	分らない
20	7月27日	曇	駒形町	自宅			2~5				鳴き声	住宅街	サクラなどの広葉樹	—	減った
21	7月27日	曇	亀泉町	寺沢川付近							鳴き声	林・森	果実	11~14時	分らない
22	7月29日	曇	柏川町女洲	女洲城跡			2~5				鳴き声	林・森	その他	16~19時	分らない
23	7月30日	晴	柏川町女洲	女洲城跡	1						鳴き声	林・森	サクラなどの広葉樹	11~14時	分らない
24	8月1日	晴	柏川町女洲	女洲城跡							鳴き声	林・森	マツなどの針葉樹	11~14時	分らない
25	8月1日	曇	荒口町	前橋総合運動公園						2~5	鳴き声	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	14~16時	分らない
26	8月2日	曇	河原浜町	旧大胡町							鳴き声	林・森	その他	16~19時	減った
27	8月3日	曇	青柳町	自宅							鳴き声	住宅街	サクラなどの広葉樹	14~16時	減った
28	8月4日	曇	荒口町	前橋総合運動公園							鳴き声	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	14~16時	分らない
29	8月4日	曇	荒口町	前橋総合運動公園							鳴き声	公園や街路樹	サクラなどの広葉樹	14~16時	分らない
30	8月5日	晴	大和根町一丁目	自宅							鳴き声	住宅街	サクラなどの広葉樹	14~16時	分らない


調査員番号	初確認日	天気	調査した場所		確認できたセミの種類					どのようにセミの名前を調べたか	セミがいた場所は	セミがいた木の種類	調査した時間帯	以前と比べてセミの数はどうですか
			住所	地名	アブラゼミ数	ミンミンゼミ数	ヒグラシ数	ツクツクホウシツク数	その他数					
31	8月5日	晴	青柳町	自宅					6~10			サクラなどの広葉樹	14~16時	減った
32	8月7日	曇	駒形町	自宅	1							その他	11~14時	減った
33	8月8日	曇	勝沢町	自宅				1				サクラなどの広葉樹	16~19時	変わらない
34	8月12日	曇	駒形町	自宅				2~5				その他	6~11時	減った
35	8月13日	曇	渋川市赤城町	赤城自然園	分からない							マツなどの針葉樹	6~11時	分からない
36	8月16日	曇	亀泉町	寺沢川付近					分からない			サクラなどの広葉樹	16~19時	分からない
37	8月17日	晴	下細井町	自宅	1							果実	14~16時	減った
38	8月18日	曇	河原浜町	旧大湖町	1							マツなどの針葉樹	14~16時	減った
39	8月20日	晴	東善町	自宅				2~5				サクラなどの広葉樹	16~19時	変わらない
40	8月20日	曇	総社町榎野	自宅				1				サクラなどの広葉樹	6~11時	減った
41	8月21日	曇	幸塚町	幸塚公民館	1							サクラなどの広葉樹	16~19時	減った
42	8月21日	一	上大島町	上大島町農村公園					1			一	一	分からない
43	8月22日	晴	東善町	自宅			1					分からない	6~11時	変わらない
44	8月24日	曇	河原浜町	旧大湖町					1			その他	16~19時	減った
45	8月26日	晴	下細井町	自宅			1					果実	14~16時	減った
調査員数 13名(調査地点 45地点)														
													4	地点


5 確認地点


 ニイニイゼミ


 アブラゼミ

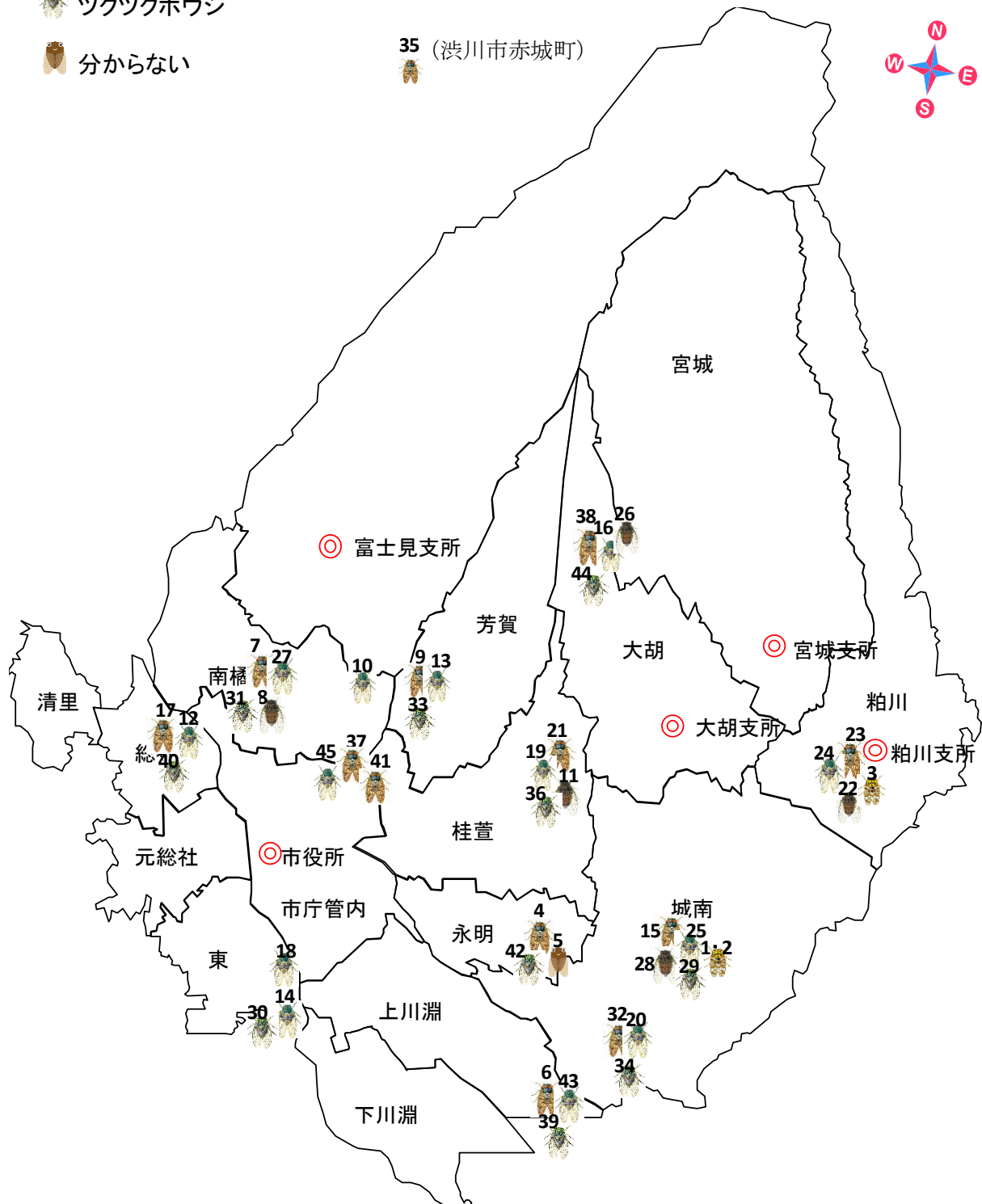
 ミンミンゼミ

 ヒグラシ

 ツクツクボウシ

 分からない

35 (渋川市赤城町)




6 隊員の声

ハルゼミは松林などに入るとギーギーと鳴くのですか？

来年はハルゼミを見つけたいと思う。

蝉は移動するので一寸と見つけづらいですね。

セミについての興味をひかれました。

近所に庭木が多く我が家には柿の木がかなり大きくなっていて、セミはもちろんのこと、小鳥が毎日来ていて体を休める絶好の場所となっているようです。

昨年に比べて鳴き声が少なくなってきている。

小学生の頃には家の周りに桑畑があり、セミの抜け殻も沢山とったのも懐かしい思い出です。

今回改めて鳴き声を頼りに探したのですが、姿がわかりませんでした。固体も非常に少ないのではないのでしょうか？

意識して聞いて、初めて驚いています。残念でたまりません。

鳴いている時にカメラを持って出たのですが、声はすれども姿は見えず駄目でした、残念です。

7月22日、朝6時40分、利根川のサイクリングロードを通ったら、備前橋休憩施設の所の大きなケヤキの木の中ほどから「ミーン、ミンミン、ミーン」と鳴き声が聞こえます。よく聞いていると「ミーン、ミンミンミン、ミーン」だったり「ミーン、ミンミンミンミンミン、ミーン」だったりで驚きました。1匹だけでしたが、20分ほどしてまた通ったら、あちこちで鳴き声が聞こえました。

地面の草やぶの所からは「ミン、ミン、ミン」と賑やかでした。「ミーン、ミンミン、ミーン」がありませんでした。地面から出てきたばかりのセミだったのでしょか。

セミの数が少なくなったのは確かです。

前は家の外壁に張り付いて時間に関係なくよく鳴いていました。

今年は8月に入って涼しい日が続いたりして天候不順だったので、そういうことも関係しているかもしれません。

今年はセミの声がなかなか聞かれず、待ち遠しかった。今夏最初の鳴き声はミンミンゼミでした。このセミは鳴き出すとほとんど毎日、自宅でも調査地でも聞かれました。

しかし一番早く鳴くと思っていたアブラゼミは8月半ばで、2回程と、昨年より更に聞かなくなった気がします。

夕方聞くヒグラシやツクツクボウシの声は何とも哀愁を帯び、こだまのように響きます。

セミたちには、古来、夏に舞い出る昆虫として、身近に親しんできました。いつまでも鳴いて欲しいと思います。

セミの調査は難物です。なかなか目視確認ができず、種類の分からない鳴き声もよく耳にしました。

今回は桜調査と同地点で観察しましたが樹木が少ないので次回は別地点も考えます。

初回おそまつな報告で残念です。

今年7月中、鳴き声の確認回数が少なく心配していましたが8月に入り多数確認でき安心しました。

アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシは数多く確認できましたがヒグラシは1回確認できただけでした。

上毛新聞ひろば欄に豊島氏投稿の「セミの鳴き始めに異変」平成22年コラム欄に「鳴き順の異変」が掲載されていました。おぼろげな記憶から近年セミの鳴く最盛期がずれ、遅くなってきているような気がいたします。今年は日照時間の短い異常気象の夏で心配していました。

くまゼミはわからなかった。

アブラゼミ、ミンミンゼミはよく鳴いていた。

ヒグラシは確認出来ず。

全体的に人家が増えたせいか、減った様な気がします。

7 参考資料

アブラゼミの初鳴日の等期日線図（1981～2010年 平年値）



アブラゼミの初鳴日とは、アブラゼミの鳴き声を初めて聞いた日をいいます。アブラゼミは北海道地方から九州地方に広く分布し、市街地や山林に出現し、午前及び15時頃から夕刻に鳴くといわれています。特徴は翅の色が茶褐で不透明です。鳴き声はジ、ジ、ジ、…、ジガジガジガと鳴き続け、ギ・クツクツ・ギ・クツクツで終わるといわれています。

アブラゼミの初鳴は、6月上旬に沖縄地方から始まります。7月上旬に九州地方の一部、7月20日に九州地方から東北地方の日本海側までと広い範囲で聞かれるようになります。7月下旬に関東地方から北海道地方で聞かれるようになります。

〈気象庁 HP「生物季節観測」引用〉

8 事務局より

隊員の皆様におかれましては、「セミ」の調査にご協力いただき誠にありがとうございました。

夏になるとふと気がつくセミの声。姿を見つけるのはなかなか難しいですね。

今年のアブラゼミの初鳴日は昨年同様全国各地で早まりましたが、前橋市も平年に比べ12日早い7月20日に確認されました。

2017年の初鳴き1番乗り、ニイニイゼミは甲府（6/22）、アブラゼミは下関（6/30）、ミンミンゼミは高知（7/5）、ヒグラシは福島（7/5）、ツクツクボウシは横浜（7/16）でした。

ここで隊員の方から「ハルゼミは松林などに入るとギーギーと鳴くのですか」とご質問がありましたのでお答えします。

ハルゼミは松林に生息し外に出ることはないそうです。また、近年松林が減少し、多くの自治体で絶滅危惧種になっているそうです。

考えてみると昔はうっとうしかった大合唱が今では「セミの声」、と気がつく程度になったように思います。

また、集計結果、隊員の方のコメントにあるようにセミの数、鳴き始め、鳴き順等変化があるような気がします。

今回の調査を通じて改めて身近にいるセミの生態について興味をもった方もいると思います。是非来年もご協力お願い致します。

今後とも隊員の皆様には、本調査のご協力をお願いするとともに、日常生活の中におかれましても、身近な生き物に目を向け、触れ合っただけであれば幸いです。また、身近にいる次世代を担うこども達にも、ご自身の感じるみちかな季節の変化についてお伝えいただくと大変嬉しく思います。

みちかな季節かんじ隊事務局
前橋市環境部環境政策課
〒371-8601
前橋市大手町二丁目12番1号
TEL027-898-6292（直通）
FAX027-223-8524

「前橋市環境都市宣言」

前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 一 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 一 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 一 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、住みよいまちをつくります。
- 一 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 一 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

平成十六年七月二十九日

前橋市環境都市宣言について

本市では平成12年3月に、環境への負荷の少ない循環を基調とした持続的発展可能な社会の構築を目指して、環境基本条例を制定しました。

また、平成16年7月29日には、環境基本条例の精神や基本方針、並びに環境基本計画の5つの環境像をコンセプトとして、本市の環境政策全般に関心をもっていただくために、環境都市宣言を行いました。

このことを市民の方々へ広く普及・浸透させるために、各種イベント等を通じてPRをしていくとともに、「市民の皆様が改めて環境に対して意識を向けていただくとともに、実際に行動していただく」、「環境教育の充実」、「水と緑豊かな環境都市づくり」、「循環型社会のシステムづくり」、「環境活動への市民の皆様や民間事業者の参加」を目指して行きます。

なお、今回の宣言は昭和58年の「市民憲章」、平成元年の「平和都市宣言」「水と緑の健康都市宣言」に続き、前橋市として四つ目の宣言文となります。